

## 社会コミュニケーションプログラム

本年度も引き続き、全プログラムを対象に、助成プロジェクトの成果や手法などをインパクトのある形で社会に発信・普及させることを目的とします。

また過去の助成対象者を中心に、これまでの活動の実績から得た知見に基づく政策提言を通じ、社会の仕組みそのものを変えようことをめざす事業への助成を検討します。具体的には、モニタリングなどを通して候補となるプロジェクトを選定し、助成対象者とプログラムオフィサーが連携して効果的な社会への発信を図ります。

## イニシアティブプログラム

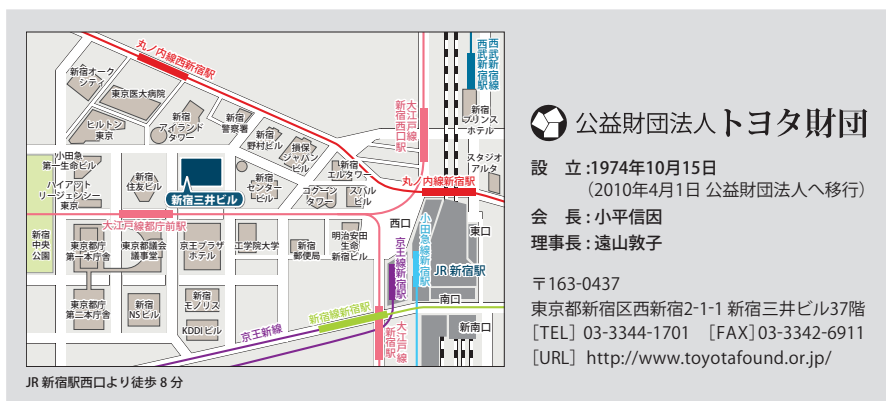
### 一般枠

NPOの基盤強化など、非営利セクターの発展に資するプロジェクトに対する助成を行うとともに、他組織との共同助成、民間財団として支援の意義が大きいと考えるプロジェクトなど、本プログラムの本来の目的である、将来の新しいプログラムの開発に資するためのプロジェクトを積極的に発掘していくこととしています。

### 東日本大震災特定課題

2016年度の募集に対する応募件数が10件と少数に留まったことや、自治体による復興(災害)公営住宅におけるコミュニティ形成への補助金などが創設されはじめてることなどから、3年間続けてきた「コミュニティ形成支援プログラム」は一定の役割を終えたと判断しました。

2017年度は、この「コミュニティ形成支援プログラム」の振り返り・評価を行うことで、将来の災害に備えるとともに、発災から丸6年を経た被災地における現在の課題を抽出することを目的とした調査事業を非公募の助成により実施します。



## 設立趣意書

発明によって人類の幸福に寄与するという豊田佐吉翁の創始者精神は、その子喜一郎に自動車という形で受け継がれ、今日のトヨタへと発展してまいりました。

トヨタは「自動車をとおして豊かな社会づくり」を行うことを基本理念として、社会の恩恵のもとに社業に努めるとともに、環境整備、交通安全に関する教育の推進、文化施設の寄贈など幅広く社会協力にも努めてまいりました。

このような基本姿勢に立って、このたび自動車をはじめましてから40年を機に、人間のより一層の幸せを目指し、将来の福祉社会の発展に資することを期して、財団法人トヨタ財団の設立を決意いたしました。

この財団は、世界的視野に立ち、しかも長期的かつ幅広く社会活動に寄与するため、生活・自然環境、社会福祉、教育文化等の多領域にわたって時代の要請に対応した課題をとりあげ、その研究ならびに事業に対して助成を行うものであります。

ここにトヨタ自動車工業株式会社及びトヨタ自動車販売株式会社の拠出資金により、この目的が遂行され、いささかなりとも社会的要請にお応えすることができれば、設立者の喜びとするところであります。

何卒、関係ご当局のご理解とご支援をお願いする次第であります。

昭和49年9月19日

設立者

トヨタ自動車工業株式会社  
取締役社長 豊田 英二

トヨタ自動車販売株式会社  
取締役社長 神谷正太郎



公益財団法人  
**トヨタ財団**  
THE TOYOTA FOUNDATION

## 2017年度 助成プログラムのご案内

研究助成プログラム  
国際助成プログラム  
国内助成プログラム  
社会コミュニケーションプログラム  
イニシアティブプログラム

## 2017年度 助成プログラム

本年度の助成プログラムは、「研究助成プログラム」、「国際助成プログラム」、「国内助成プログラム」からなる3つの公募プログラムと、「社会コミュニケーションプログラム」、「イニシアティブプログラム」によって構成されます。2011年の震災以来6年の間継続してきた東日本大震災被災地の復興支援の取り組みについては、イニシアティブプログラムの枠組みの中において、これまでの振り返りと評価を行います。

### 研究助成プログラム

テーマ「社会の新たな価値の創出をめざして」

地球規模の課題や世代を超える課題など、これからの社会が対応を迫られる困難な課題に向き合うための基本的な考え方や方法論を探究し、社会の新たな価値の創出をめざす、意欲的な研究プロジェクトを支援します。

助成枠	(A) 共同研究助成 (B) 個人研究助成
公募期間	2017年5月1日～9月8日
助成期間	2018年5月1日から1年間もしくは2年間
助成予定金額	総額1億円((A) 共同研究助成: 約8,000万円、(B) 個人研究助成: 約2,000万円)
助成額	(A) 共同研究助成: 上限額 400万円程度/件 (2年間の場合は800万円程度/件) (B) 個人研究助成: 上限額 100万円程度/件 (2年間の場合は200万円程度/件)

### 国際助成プログラム

テーマ「アジアの共通課題と相互交流——学びあいから共感へ——」

2016年度に改訂した基本テーマと趣旨を継続し、日本を含む東アジアと東南アジアの共通課題に対する「2国以上の地域実践者による国を越えた現場交流・課題解決」への助成を行います。

また助成領域も前年度を踏襲し (A) 多世代・多文化を包摂するコミュニティ、(B) 新しい文化の創造、(C) オープン領域の3領域を継続し、応募者への本テーマの浸透とプログラムとしての深化を図ります。

サブテーマ	(A) 多世代・多文化を包摂するコミュニティ (B) 新しい文化の創造 (C) オープン領域
対象国	東アジア・東南アジアの国や地域
公募期間	2017年3月24日～6月20日
助成期間	2017年11月1日から1年間もしくは2年間
助成予定金額	総額1億円
助成額	上限額500万円/件 (2年間の場合は1,000万円)

### 国内助成プログラム

テーマ「未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティ——地域に開かれた仕事づくりを通じて——」

本年度も引き続き「未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティ——地域に開かれた仕事づくりを通じて——」をテーマとして公募を実施します。

昨年度同様、事業実施に向けた調査への助成を目的とした「しらべる助成」と、地域課題解決とその担い手育成をめざす事業への助成を目的とした「そだてる助成」の二つの枠組みを設定します。

その他、昨年に引き続き、NPOの組織基盤強化を図ることを目的としたトヨタ NPOカレッジ「カイケツ」を実施する他、助成対象者の事業の成果をより高めるために、講座・ワークショップを開催します。

助成領域	しらべる助成 そだてる助成
公募期間	2017年9月1日～9月30日
助成期間	しらべる助成: 2018年4月1日から最長1年間 そだてる助成: 2018年4月1日から2年間
助成予定金額	総額1億円
助成額	しらべる助成: 上限額100万円程度/件 そだてる助成: 上限なし